

帯広市図書館からこんなことを発信しています。

その103 中国歴史紀行

大人気講演会 勝山先生の中国歴史紀行 今年は孔子の生涯を辿ります！

帯広市図書館市民講演会

中国歴史紀行

聖賢・孔子の故郷 曲阜を訪ねる

2015年9月20日(日) 16:00~17:30

帯広市図書館 1階 多目的視聴覚室

◎参加無料/申込不要◎

講師：勝山稔氏(幕別町出身)

東北大学大学院国際文化研究科准教授



■聖人君子として、誰でも知っている孔子ですが、その人生はあまり語られていません。波乱万丈に満ち、理想を追い求めたがゆえに、何ひとつ報われなかった彼の流浪の人生はどのようなものだったのでしょうか。孔子の人生にスポットをあてて激動の時代を生きた彼の生きざまについてわかりやすく講演します。図書館所蔵の孔子関連書や『論語』も展示、貸出を行います。

お問い合わせ

帯広市図書館(電話22-4700)

今月の特集

- ★帯広市図書館から、こんなことを発信しています。
【中国歴史紀行】
- ★テーマ別オススメ資料
【夏の疲れをとりのぞく】
【いろいろな“かきかた”】
- ★図書館をもっと身近に暮らしのなかに
【紙飛行機工作教室】



CITY
LIBRARY

2015.9 vol.105



帯広市図書館

よむ☆トショ

テーマ別に図書館のオススメ資料をご紹介します！



夏の疲れをとりのぞく

季節の変わり目、気温の変化、朝からなんとなくだるいと感じている人…いませんか？そんな日常にひと工夫♪ 疲れた時の対処法をはじめ、身体も心も軽くしてくれるような本を集めてみました。毎日の生活を健やかに、疲れとおさらばできる方法ばかりです。これからおいしいものが続々と登場する十勝の秋を体調を万全にして楽しみましょう！

秋の気配を感じる涼しい日が続いています。

9月も図書館では、行事がたくさん予定されています。

5日 朝活ニュース・カフェ まわしよみ新聞

5日 第2回民話朗読会 十勝の民話 夢物語

6日 とかちマルシェ in 図書館 おはなし会・映画会

12日 マタニティ講座 赤ちゃんといっしょにわらべうた

詳しい情報は図書館HPで公開中です！

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

9月のカレンダー

色のついている日は休館です。

●○●○いろいろな“かきかた” ●○●○



文字を書く、絵を描く、記録として残す作業ですが、毎日ながしか書かない日はないでしょう。今月はそんなかきかたに注目して、さまざまな本を選んでみました。「最近、パソコンばかりで漢字が書けなくなっちゃった…」という方も手書きの魅力を再発見してください。

BOOK

『10年たっても色褪せない旅の書き方』 轡田隆史; 著

PHP研究所 1階文学2 請求記号(901.5 ㇿ)

旅の文章を書くためには「観光客」から「旅行家」へ変身すると、読んでもらえる文章が書けるそうです。感想ではなく、感動を書くことが大事。作家の作品を引用し、「いい文章」の表現技術などを紹介しています。「旅の文章」を書いてみたくなる一冊です。

BOOK

『みんなで楽しむ絵かきうた』 宮地明子; 著

ナツメ社 2階一般 請求記号(376.15 ミ)

「絵かきうた」というと、少し難しそうに思えるかもしれませんが。この本では、皆さんが知っている歌にのせて簡単に描けてしまうものばかり紹介しています。ちょうちょの音楽に合わせて、ちょうちょうが描ける！メロディがわからなくても大丈夫。うれしいCD付。

BOOK

『だまし絵の描き方入門』 杉浦厚吉; 著

誠文堂新光社 2階一般 請求記号(725.2 ス)

目の錯覚を利用して、見る人に普通とは違った感覚を持たせるのがだまし絵です。多くの種類がある中から、エッセイの描法を4種類、取り上げています。描き方のコツをつかめば、ちょっと不思議で面白いだまし絵作品があなたも簡単に作れます。

BOOK

『きちんと！伝わる！文章の書き方身につく便利帖』 澤野弘; 監修

学研パブリッシング 2階旅行 請求記号(816 キ)

何か文章を書こうとすると、どうやって書いていいのか迷うことはありませんか？そんな時はこの本が役立ちます。手紙からビジネス文書まで幅広く、網羅しています。決まりを守り、パターンを覚えることで、きちんと伝わる文章が書けてしまうのです。

BOOK

『「昨日の疲れ」がとれちゃう本』

日本文芸社 2階一般 請求記号(498.3 キ)

昨日の疲れは残さない、今日の疲れは今日取り除く、そして、疲れをためにくい体質にするべく、睡眠、入浴、ストレッチ、食事等でのさまざまな方法が紹介されています。今すぐに取り組めるものばかりなので、読んで実践してみませんか？

BOOK

『心が疲れたらお粥を食べなさい』 吉村昇洋; 著

幻冬舎 1階生活 請求記号(596.21 ヨ)

曹洞宗寺院の住職で、臨床心理士でもある著者が、修行時代の食事にまつわる行動を取り上げ、気づいたことを綴っています。その中には、心を楽に、また豊かにしてくれそうなヒントが満載。“疲れたな…”と感じた日の食事に、お粥はいかがですか？

DVD

『運動で健康 NHK健康番組100選』

NHKエデュケーショナル; 企画・制作 NHKエンタープライズ 2階からだナビ 請求記号(D490 キ)

本を読んだだけではなかなか覚えられないことも、実際に映像を見ながら動きを合わせてみるとスムーズに実践できます。安眠ストレッチ、ヨガなどで、体と心をリラックスさせましょう。NHKの健康番組をDVD化した資料です。

BOOK

『奇跡の湯ぶくぶく自噴泉めぐり 温泉遺産の旅』 篠遠泉 長岡努; 共著 山と溪谷社 2階旅行 請求記号(291.09 シ)

疲れをとるにはやっぱり温泉！と思っている方も多いのでは？自然に湧くお湯で湯船が満たされる自噴泉。そんな温泉地を巡り、実際に湯につかって書かれた記録です。北海道の温泉も紹介されているので、これからのシーズン、紅葉狩りも兼ねて出かけるのもいいですね。

◆ ◆ ◆ PHに憧れて ◆ ◆ ◆
9月20日は空の日です。大空に憧れ、飛行を夢見た人たちの物語を集めました。空が高い季節、のんびりと見上げてみては？



BOOK

『飛行機』 中村浩美; 監修

日東書院 2階一般(538 ヒ)

飛行機のことならこの1冊。旅客機を中心に機種紹介から、どうして何百トンもの鉄の塊が空を飛べるのか、という疑問まで細やかに解説しています。空港で働く人たちの仕事も多種多様にあることがわかります。

BOOK

『ライト兄弟鳥人伝説』

文林堂 2階一般 請求記号(538.6 ラ)

人類初の動力飛行に成功したのはライト兄弟でした。1903年のことです。ライトフライヤーと呼ばれる飛行機の構造や飛行に成功した要因が語られています。そしてまた、ライト兄弟の功罪、生涯のライバルの存在など知られざる伝説がここに…。

BOOK

『お嬢さん空を飛ぶ』 松井由利子; 著

NTT出版 2階一般 請求記号(538.02 マ)

大正5年(1916)アメリカから女性飛行家が来日、夜間飛行や曲芸飛行を披露しました。大正時代の日本女性たちは勇敢で自立した彼女の姿に大熱狂。アイドル並みの扱いでした。大いに触発された女性たちは空を目指して歩みを開始します。

BOOK

『簡単&よく飛ぶ 親子で作る！紙ヒコーキBOOK』

戸田拓夫; 監修 宝島社 2階一般 請求記号(754.9 カ)

1枚の紙からつくる紙ヒコーキ、ふわっ、すーっと飛んでいく姿に感動を味わえます。コピー用紙でもチラシでも作れる方法を丁寧に紹介しています。難易度や最終調整のコツもあり、親子で挑戦するにはもってこいです。より遠くへ飛ばす方法も書いてあります。

BOOK

『サン=テクジュペリと星の王子さま』

ビンバ・ランドマン; 著 鹿島茂; 訳 西村書店

1階児童 請求記号(E ランド)

『星の王子さま』で有名なサン=テクジュペリの生涯を絵本で読むことができる1冊です。少年時代からの大空を飛びたいという夢が育まれた背景が美しい絵とともに語られます。

BOOK

『小説・マンガで見つける すてきな仕事 ①ささえる』

学研教育出版 1階ヤング 請求記号(Y366 シ 1)

さまざまなお仕事小説やマンガを通じて職業に迫るこのシリーズ。第1巻に、宇宙飛行士が取り上げられています。山崎直子さんの特別インタビューと漫画『宇宙兄弟』に見る宇宙飛行士のなりかたや業務がわかりやすく説明されています。

図書館をもっと身近に 暮らしのなかに

ドキドキ
夜の図書館で
紙飛行機を飛ばそう

夜の図書館で紙飛行機を飛ばそう！

2015年9月23日(水・祝) 17:00~18:30
帯広市図書館 1階 多目的視聴覚室

対象:小学5年生~中学生

講師:木川博史先生

材料費:100円(当日申し受けます)

申し込み:9月2日から電話にて受付(先着20名)



帯広紙飛行機を飛ばす会会長の木川博史先生をお迎えして、紙飛行機の工作教室を開催します。やり飛行機・スカイキング・ステレンペーパー飛行機の3種類を作って、閉館後の図書館内で飛ばします。
飛行機の飛ばし方にもコツがあるそうです。先生にいろいろ教えてもらいましょう。



申込み・問い合わせ 帯広市図書館 0155-22-4700

ほんのまくら

その30の段

©紀伊国屋書店新宿本店

「続きが気になる本。」ございます。

つい、続きを読みたくなるような書き出しを紹介していきます。

物語をどんな言葉で始めるのか…、作家はとても悩むのでしょうか。



①「掃除屋」である彼は、これから三つの作業を行わなければならない。それがどれほど汚らわしく、気分が悪くなるようなことであっても、最後まで実行しなければならなかった。

②「あなた、死体はお好き？」
真琴はそう訊かれて返事に窮した。

③鬱々とした霧が今日も町を覆っている。朝にもかかわらず、行き交う車はみなヘッドライトを灯している。音もなく近づいたハイビームが、登校中の俺の目を次々と射抜き、過ぎ去っていく。そのたびに凍りかけた雪に足をとられそうになる。

④三年前の自分を思い出す。その光景には幾重にもフィルターがかかっていて、既に正確な記憶ではなくなっている。あの頃の自分はと虚空を見つめた瞬間、僕はその鮮やかな記憶に疑いを抱く。

さて、本のタイトルは…◆◆◆◇◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇

- ①『警視庁文書捜査官』麻見和史 角川書店 913.6 アサミ
- ②『ピポクラテスの誓い』中山七里 祥伝社 913.6 ナカヤ
- ③『あぶない叔父さん』麻耶雄嵩 新潮社 913.6 マヤ
- ④『持たざる者』金原ひとみ 集英社 913.6 カネハ